「」とのについて

やさしい日本語

８２０

７の　から　しく　の　に　なったや　の　に　なった　が　からないの　が　くなり　の　を　う　も　くなりました。そこで　８５に　「」を　して　に　して　の　に　する　を　おいしました。　また　（※）が　こった　を　ながら　や　の　みなさんにも　おいを　してきました。

８５から　の　を　うが　だんだん　くなり　も　える　かもしれません。　そのため　「」は　なくなりません。　しかし　このところ　しく　の　に　なるは　ってきています。　また　の　を　げない　を　するよう　を　おいしている　などでは　（※）が　こる　ことは　なく　なりました。　このが　けば　の　も　なく　なっていきます。

※

　じ　で　たくさんの　が　の　に　なること

これから　の　と　く　きって　いかなければいけません。　しかし　のように　や　に　ないように　することを　ずっと　けるのは　です。　みんなで　の　を　げない　を　していくことが　です。

　このため　みなさんの　や　するときの　きまりを　できるだけ　なく　することの　を　げない　ことをに　えながら　これまで　の　みなさんや　の　みなさんに　おいしてきた　ことをします。　そして　の　を　げない　を　している　の　みなさんを　たに　します。

　　の　の　がる　を　て　もし　の　が　さらに　がり　の　が　りなくなったり　したときは　ふたたび　や　の　みなさんに　さらに　みを　おい　することに　なります。

**１．８２２から　おいすること**

**の　みなさんへ**

　　など　おを　みながら　を　するおや　おが　できる　　その　おが　める　などで　おや　ごとの　を　って　いない　おは　を　えて　ください。　を　ちゃんと　って　いるかどうかは　が　した　の　しるしが　あるかどうかで　して　ください。



やさしい日本語

なお　８８から　２１まで　おい　していた　のことは　２２からは　できるように　なります。

・おの　で　ごす　は　２までに　すること。

・１つの　おに　った　の　おに　ったり　しないこと。

**の　の　の　を　まえた　おい**

　など　を　するところで　が　きています。　い　は　の　で

の　や　　しやすいに　を　うつさない　ように　を　けて　して　ください。

　で　を　べたり　おを　んだり　するときは　や　の　さ　の　の　れえが　できるか　などを　して　ください。　の　に　ならない　ような　が　できない　ときは　やらないように　してください。

　などの　で　が　きています。　を　する　ときにが　あったり　が　でている　は　しないように　してください。